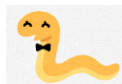


長崎県幼児教育センターだより



No. 11



2025. 1. 9



～ 本年もどうぞよろしくお願いいたします！～

2025年は全国的にも穏やかな年の始まりとなったところが多く、初日の出に向かって幸せを祈る人々、初詣や新年を祝う行事でにぎわう各地の様子がテレビに映し出され、あたりまえに正月を迎えられることへの感謝の気持ちを実感する年の始まりともなりました。

さて、今年は十千十二支でいうと42番目にあたる乙巳（きのとみ）と言われ、芽吹きが成熟し転機を迎える年であるそうです。加えて、巳年は成長と変化、再生、新しい可能性が開けるといった特徴があり、4月には開設から3年目を迎える当センターも、現在の訪問支援や研修等の充実に加え、架け橋期のカリキュラム開発や家庭・地域への情報発信等に力を入れ、さらなる成長と変化を遂げる一年にしたいと気持ちを新たにしております。

本年も、県下全域において「生きるねっこの丈夫な子」を育てていくという思いを一つに、皆様とともに歩みを進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



～横のつながいを大切に！～

これまでこのセンターだより内で、様々な工夫ある取組や挑戦をされている園をご紹介してまいりました。今後もぜひ、このセンターだよりという情報発信の場を活用いただき、自園の特色ある取組を広げていただいたり、これらの記事をきっかけに幼児教育・保育施設の横のつながりをつくっていただいたりしながら、組織運営や人材育成、幼児教育・保育の充実の一助として幅広く活用いただけますと嬉しい限りです。

これまでにご紹介した園

雲仙市：大福寺こども園

日常の公開保育を提案

諫早市：とんぼ保育園

読書に特化した園内研修の実施

長崎市：慈光保育園

絵本を学び直す園の取組

佐世保市：さつき幼稚園・比良幼保園

園長手作り紙芝居等の読書環境の充実

上記の内容に加え、資質向上に関する指標の活用や幼保小連携の取組等、様々な視点から、「ぜひ、自園の取組を紹介してほしい」というお声をお待ちしております！

～中堅保育士等の先生方と考える～

昨年12月18日に開催した中堅保育士等資質向上研修（オンライン研修）において、令和6年4月1日付け「6こ未号外」並びにセンターだよりNO.1で紹介している「長崎県幼稚園教諭・保育教諭・保育士としての資質向上に関する指標（令和5年度作成）」について

て取り上げ、その活用方法について協議していただきました。その中で様々なアイデアが出されましたので、ご紹介します。

(グループ協議から)

- 年度初めに職員会議で指標についての共通理解を図り、個人または組織の一年間の目標等を立てる際に活用する。
- 自身のステージにおいて求められる資質について再確認したり、自己評価の視点として活用したりする。
- 園内研修で指標の活用について話し合う時間を設け、日常の保育におけるPDCAサイクルに生かす。
- 若手育成において、自身の保育について悩みを抱えている場合には指標の中で到達している部分を確認させ、自信をもたせる等の活用を図る。

ぜひ、上記のアイデアも参考にしながら、職場における業務や若手育成における指導等の場面でこの指標を活用し、施設種別に関わらず、県内全ての保育者の資質向上に役立てていただきたいと願っております。



～学ぶ保育士等応援事業(園内研修DVD)、好評です！～

今年度の新事業、「学ぶ保育士等応援事業」につきましては多くの園に活用いただき、大変嬉しく思っております。その中で園内研修DVDを利用された園から「内容がとてもよいので、この事業が終了しても貸出をしてほしい。」といったお声や直接、電話でお礼を伝えてくださる園もありました。

次年度以降、本事業が継続できる場合には園内研修DVDの活用もぜひご検討ください！

(利用された園から)

- 一斉に同日開催ができなかったため、三つのグループに分かれて日程調整し、園内研修を実施したのですが、それぞれのグループの特色が出ており、各グループで色々な意見が活発に出て、とてもよい研修となりました。
- 研修用DVDを三回に分けて観させていただきました。職員それぞれ、視点がたくさんあり、感性も様々でそれらを生かして子ども達に関わっていきたいです。
- DVDを活用させていただき、他園の事例を見て保育について話し合う機会をいただきお陰様で学び多い研修の時間となりました。



(文責：石田 久美子)